

令和6年度 公認コーチ1・2専門科目講習会（報告書）

今年度は2年に一度のコーチ2も開催する年であるため、コーチ1・2両方とも開催しました。日程については、コーチ1は10月26日・11月9日・11月30日の3日間（14時間）、コーチ2は10月26日・11月9日・11月30日・12月14日の4日間（28時間）で行いました。場所は東海高校の体育館と講義室（第2会議室・205教室）を使用しました。一部の日程で上記の場所が使用できないときは東桜会館で行う日もありました。受講者数はコーチ1が21名、コーチ2が11名でした。講師は愛知県バドミントン協会の藤巻・峰・山崎・浅井・立松がメイン講習を行い、飯田・山田和・佐藤莊が補助で手伝ってもらいました。

内容については、コーチ1はバドミントンの基礎理論や歴史などを座学で学び、回内や回外などの実技を行いました。また、練習メニューを作るグループワークも行いました。

コーチ2はコーチ1で学んだことをより一層入り込んで専門的に学ぶ座学をおこない、実技においてはコーチとして必要なノック技術を向上させることをメインに置いた講習をおこないました。

また、どちらの講習も家庭学習でレポートを科していて、それぞれの受講生がテキストを熟読・熟考して多彩な考え方を記載してくれました。

以上のように、集合講習と家庭学習の結果を加味して、コーチ1・2を取得するに達した受講生に資格を授与しました。

講師の山崎氏からの報告も載せておきますのでご覧ください。

「今回の講習会では、バドミントンコーチとしてのマインドセット、必要なスキル、ケーススタディを通じてやる気を高める方法や、初心者から次のステージに進めるコーチング過程を学習しました。「学ばない者は教えてはならない」というコーチの基本姿勢を確認し、コーチ自身が永続的に学びを続ける重要性を認識しました。また、プレーヤーの個別の特徴に適応した会話力スキル、指導の方法も学びました。コーチングは、プレーヤー自身の能力を引き出すことに重点を置き、ティーチングは実際のスキルを伝達するものです。これらを使い分けることで、個人の成長を助けるための最適なプログラムの構築法を学びました。」

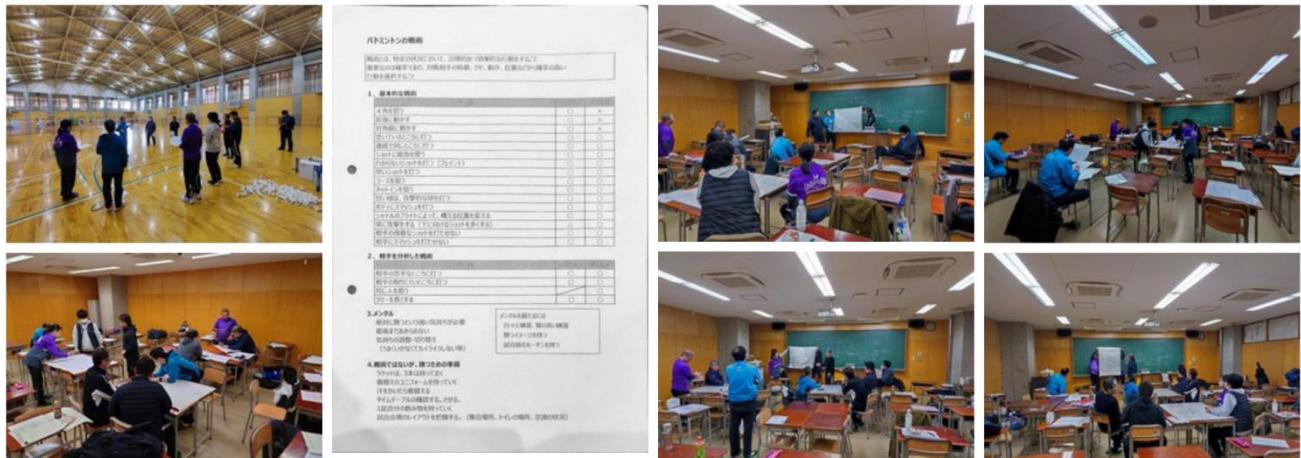
以上



写真①：コーチ1養成講習・講義、実技講習の様子



写真②：コーチ1養成講習・講義、検定の様子



写真③：コーチ 2 養成講習・グループ討論、発表の様子



写真④：コーチ 2 養成講習・講義、コーチ 1・2 実技講習の様子

愛知県バドミントン協会 立松幹浩